～未来のために～ いま

明石市立二見中学校
第３学年(72回生)学年通信
2019(令和元) 年 12月 9日
第２３３号

若者Box序　ネット上よりも実際の笑顔を

今の若者はニュースで情報を取り入れるよりツイッターやその他のネットワークで知ることの方が多いと思います。中でもツイッターは若者になじみ深いアプリだと思います。思ったことや、出来事をボタン一つで投稿し多くの人とシェアできる便利なアプリです。簡単に情報を得られるし「いいね」という応援を送る機能もあります。

しかしその機能は簡単にボタンを押せる分適当に押している人も中にはいるはずです。もちろんたくさん「いいね」がきたらうれしいけれど、僕は本当に本心なんだろうかなどと考えてしまいます。ネット上の「いいね」よりも、見た人たちに直接「あの写真良かったね」と言われる方がうれしい気もします。ネットが普及して便利になった分、人と人とのコミュニケーションが少なくなっている気もします。

表情を見ながら話すことが難しく思うときもあります。ネットでの「笑」よりも実際に笑顔を見られた方が何倍も幸せです。

（高校生　神戸市灘区）　18歳

〇私は「ネットでの笑より実際に笑顔を見られた方が何倍も幸せです。」という言葉にとても共感しました。私もよくツイッターなどのインターネットをよく利用します。ですが、やっぱり知らない人とネット上で話すより、友だちと会って話す方がよっぽど楽しいと思います。今、ネットがどんどん便利になる一方で、大きな事件が増えてきています。ネットを通じて知らない人と、知り合うことの怖さを事件がある度に痛感させられます。だからこの文を読み、インターネットの使い方を改めて考え、人とのコミュニケーションも多くとろうと考えました。

〇この記事を読んで私は確かにそうだなと思いました。ネットでは文字や写真だけで何かを伝えるだけですが、現実では表情や行動も話しているときに必要になる。ネットでは言い方次第では誤解が生まれたりしてケンカになったりもするけど、現実では表情とかで相手がどう感じているか判断できるし、誤解が生まれたとしてもすぐに訂正できる。確かにネットは便利だけど、便利だからこそ、それを利用して犯罪が起きたりするんだと思いました、ネットも便利でいいけど、現実のコミュニケーションも大事だと思いました。

〇筆者の言っていることは正しいと思う。今の世はご飯もインターネットで買えばすぐ届くし、ほしいものは注文さえすれば家に届く。昔は直接買いに行って，見て買ったり、服は試着して似合っているか考えて買っていた。このままでは悪質なサイトや、通販にあたる可能性を高めてしまうかもしれない。さらにこの状態が続くと、人と人の関わりが無く、生気の無い町が出来てしまうと思う。私が考える未来はこんな感じなので、自分は積極的に外に出たいと思います。

〇私も誰かの投稿を見て「いいね」をしたりするけど、後で本人とその投稿の話をすることがないし、「笑」と打っても実際に笑ったりしていることもあまりないから、ネットの中では相手が見えないので、人とのコミュニケーション能力は育たないのではないかと思いました。ネットが普及し、便利だから休日などに友人と会って話すより気軽にネットを使う方が簡単なので使っていたけど、人と人が顔を合わせる方が何倍も大切なことなんだと実感しました。

〇確かにネットで「いいね」をもらうより実際にほめられることの方が嬉しいかもしれません。でも、それとはまた違うものがあるからこそ、インターネットに人々は夢中になるのではないかと思うのです。特にツイッターは友だちだけでなく、アーティストや俳優といった普段ＬＩＮＥなんかをし合うことが出来ないような人たちもいます。そういう人に「いいね」やリプライを送れるのがツイッターの良いところです。だから一言で人と人のコミュニケーションを大事に出来るように実際に会って話す方が良いとは私は言えないと思います。なので、話すときは相手に合わせて、ＬＩＮＥなり通話なりツイッターなり、方法を変えて、人とうまく関わっていきたいです。

〇確かにインターネットが普及してから、人々のコミュニケーションは直接するよりネットですることが多くなっている。実際自分も同級生で、ネット上ではしゃべったことがあるけど、直接はしゃべったことがない人が何人かいる。ネット上なら簡単にしゃべれるからいいけど、その分相手の顔や様子などが分からず怖い部分もある。だからこそ、やはり直接話す方がいいのだと思う。

〇私は、コミュニケーションがネット上で簡単にとれるから、ネットが普及して良かったと思う。ネット上での「いいね」より実際に会って話す方がいいとは思う。だけどネットはネットだけのものだから、それはそれで良いと思う。しかし、ネットと実際のことを一緒にしてはいけないと思う。正しい使い方ができる能力を養うことが大切だと思う。

〇インターネット上では嘘なのか本当なのかどうか分からないと書いているけど、それは現実の方でも同じなんじゃないかと思った。直接言われても、付き合いや義務感で言われているかもしれないし、本当は全くそう思っていなくて、心の中では笑われているかもしれない。そういった事はあると思う。だからネット上と現実でそこまで差は無いと思った。それにインターネット上でこそ、うまくコミュニケーションを取れる人もいるから、そこまでネット上のやりとりを非難しなくても良いと思った。

〇ネットが広まる中で良いことも増えています。でもその中でたくさんある情報を、良いことか嘘か、自分で判断して見分ける力が大切です。全部を真実だと信じ込むとその中にある嘘をさらに広げてしまい、嫌な気持ちになる人もいると思います。しかし悪い面もあるが良い面もあります。友だちに伝えたいことをすぐに伝えることができたり、情報を一度に広めることができるなど、使い方次第で良い方向に使うことができます。もっとネットワークの使い方を改めることで、良い面が増えていくと思います。

〇私はツイッターはしていないけど、スマホを持たしてもらうようになってから家でニュースを見る時間とかが減って、ドラマとかもスマホで見たりして、テレビを見ることが少なくなりました。ネット上では何でもできるし、便利なので私と同じような人は多くいると思うが、そのせいで人とのコミュニケーションが減っている人も多いと思う。ネットで共感する友だちよりも会って二人で笑い合える友だちの方がぜったいいい。

〇最近情報化が進んで便利になってきていると思います。ですが、その分危険なこともたくさんあります。見知らぬ人と簡単につながることができ、誘拐に発展してしまったりと。ネット上の会話や投稿はあくまでも表面上です。どんな気持ちか、どんな表情か、本当のことはわかりません。ネットワークが普及して、何度も言われていますが、楽しむことの前には安全を確認することが大事なのではないかと思います。自分も今一度スマホの使い方を見直すべきだと感じました。

〇私も同じことを感じることがよくあります。ＬＩＮＥをしていて「笑笑」とみんなも私も返事をしたりしますが、本当は苦笑いだったり、会話に区切りをつけたかったためなどということが多々あります。人と直接話しているときは相手の表情や声などで、向こうの気持ちを推し測ることができますが、ＳＮＳではそうもいきません。なので、ＳＮＳ上だけの友だちを作ったり、ＳＮＳでばかり人と話していて、コミュニケーション不足になるなんてことがないようにしようと思いました。

〇ネットを使うことで便利になり、ネット上でのやりとりが増えたと思います。私もＬＩＮＥで友だちと話すことが増えています。やりとりの中で（笑）と送られてくるけど、相手が本当に笑っているのか、送っているけど傷ついているのではないかと思うときがあります。やっぱり直接会って話すときの方が、表情や身振り手振りで相手がどう思っているかがある程度分かるので安心できます。ネット上でやりとりをするということは、直接会って話すよりも、もっと考えて言葉を使わないといけないんだなと思いました。